

# 県医労新聞

2012年9月

盛岡市内丸11番1号  
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1866号(月刊81号)



「原水爆禁止2012年世界大会—広島」で大漁旗を振り、核兵器廃絶、原発反対を訴える岩手県代表团（8月6日 広島県立総合体育館）

## — 目次 —

- 1 P 原水爆禁止 2012 年世界大会  
—広島
- 2 P 人事院勧告  
36 協定
- 3 P 遠野支部パワハラ学習会  
大東病院の今後のあり方につ  
いての懇談会
- 4 P 女性部ニュース
- 5 P 青年部ニュース  
日本医労連定期大会  
脱原発盛岡行動
- 6 P つぶやき、とんがらし  
7月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル  
9・10月の予定 お知らせ



原爆ドームと千羽鶴

原爆投下から67年

# 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を

=原水爆禁止 2012年世界大会 in 広島=



原爆ドーム前で、岩手県代表团

8月3日～6日、広島市で原水爆禁止世界大会が開催され、岩手代表団として36名、うち県医労からは二戸支部2名と本部の〇〇書記長が参加しました。

原爆投下から67年目を迎える夏。世界大会には各国政府代表などを含む約7千人が全国から参加。岩手代表団では大会前日夜の夕食交流会で、今回の大会参加にあたっての決意や想いを

を語り合いました。2日目は、原爆ドームや平和記念資料館を見学し、平和公園では職場や地域から託された折り鶴を捧げました。大会では、被爆者認定訴訟の問題、核実験・事故による各国の被曝実態、福島原発事故後の状況などが報告され、核兵器早期廃絶だけではなく、被爆者との援護連帯、脱原発・自然エネルギーへの転換なども訴えられました。

## 参加者の感想 II

### 二戸支部・〇〇〇〇

原爆ドームと資料館を見学しました。皮膚が溶けた写真、亡くなった子供の形見にと取っていた髪の毛、その日着ていた服などが展示されていました。原爆については、テレビや本などで知っ

ていました。だが、実際に広島を訪ねてみて、なんと悲惨だったのかと衝撃を受けました。分科会では



二戸支部の〇〇さん(左)と〇〇さん(右)

被爆者のお話を聞きました。幼い頃、家族や友人が苦しみ亡くなるのを目の当たりにした方の悲痛な言葉は、とても胸に迫りました。

閉会式では、福島県浪江町の町長が原発事故後の国の対応について話し、女子高生が「この世の中に原発はいらぬ」とみんなで声を揃え訴えていたことも、すごく印象的でした。

### 二戸支部・〇〇〇〇

福島原発事故の被害にあつた浪江町の町長の話を

聞いて、「我々の生活を破壊した原発は原爆と同じだ」と話していたのが、とても印象的でした。広島は戦争やアメリカといった恨む対象があるけれど、福島原発事故は地震という自然災害が原因で、怒りや悲しみをどこにぶつけなければいいのかといったやりきれない想いが伝わってきました。非人道的な核兵器はもちろんだ下に推進されてきた原発も、どちらも廃絶しなければと感じました。

# 基本給・一時金とも改定なし

## 50歳代後半層は昇給抑制

### 賃下げ容認の人事院勧告

8月8日、人事院は国家公務員に対する給与等の勧告（人事院勧告）を行いま

した。勧告の骨子は別表のとおりであり、主な概要は①基本給・一時金の改定見

送、②55歳を超える職員の昇給停止（標準成績者）、③50歳代後半層の昇格対応号給引き下げ、などです。

民格差がプラス7.67%・28,610円（民間が高い）にも関わらず、減額は臨時特例であるとして格差解消は行わないとしています。

以前人事院は、勧告に基づかない給与減額の違法性について「強い懸念」を表明していましたが、今回の勧告は事実上減額を容認したものです。これは人事院が、国家公務員の労働基本権制約の代償措置としての役割を、完全に放棄したに他なりません。

また昨年実施された退職金の官民調査の結果を受けて、退職金の大幅な引き下げが閣議決定されました。県としても同様の提案がされるおそれがあることから、人事委員会交渉と並行して、県・医療局に対する退職金引き下げ阻止にも取り組む予定です。

## 給与勧告の骨子

### ●本年の給与勧告のポイント

#### 月例給、ボーナスともに改定なし

- ① 月例給の較差について、給与改定・臨時特例法に基づく給与減額支給措置による減額前の較差を算出し、併せて減額後の較差も算出  
以下の諸事情を踏まえ、減額前の較差（△0.07%）に基づく月例給の改定なし  
・従来、較差が小さく俸給表等の適切な改定が困難な場合には改定を見送っていること  
・減額後は民間給与を7.67%下回っていること、減額支給措置は民間準拠による改定とは別に未曾有の国難に対処するため、平成25年度未までの間、臨時特例として行われていることを勘案
- ② 公務の期末・勤勉手当（ボーナス）の支給月数は、民間と均衡しており、改定なし  
・上記給与減額支給措置が行われていることを勘案

#### 50歳代後半層における給与水準の上昇を抑制するため、昇給・昇格制度を見直し

- ① 55歳を超える職員は、標準の勤務成績では昇給停止（給与法改定）
- ② 高位の号俸から昇格した場合の俸給月額増加額を縮減（人事院規制改正）

国家公務員の給与については、すでに本年4月より今後2年間にわたり平均7.8%もの賃下げが実施されています。勧告では、給与減額後の比較で官

私たちが医療局職員（県職員）においては、県人事委員会による勧告がこれから出されます（10月上旬予定）。岩手県は東日本大震災など

## 南光・磐井に 労基署の 是正勧告

7月、南光・磐井病院に対し、一関労働基準監督署の調査があり、時間外労働などについては是正勧告が出されました。

主な内容は、南光では時間外労働に関する協定（36協定）の限度時間を超えて労働させているとされ、磐井では、労働組合員数が労

働者の過半数に達しておらず、36協定自体が無効であるとされました。

36協定は、現在全支部分を本部にて一括締結していますが、本来は事業所（病院、地域診療センター）毎に締結する必要があり、今回の是正勧告を受けて、他の病院・支部でも対応を検討する必要があります。具体的には、中執会議での議論を経て方針を提起しますが、組合員の拡大がより一層重要となっています。

## 県立大東病院の再建構想へ

### 第2回意見交換会が開催される

# ベッド半減、リハビリ千既集約に怒りの声も

東日本大震災で被災した県立大東病院の再建に向け、地域の方々から意見を



ベッド半減に、住民の理解が示されなかった意見交換会

て、地域の方々から意見を聞くと、第2回大東病院の今後のあり方についての意見交換会」が、8月6日(月)、大東町大原の大原公民会で開催され、地域の住民約100人が参加しました。

前回(5/15)の第1回意見交換会では、医療局は新病院の構想については白紙であり、意見を聞きに来たもののスタン

スで、住民からは早期復旧、リハビリ機能・プールの維持などの意見が出されました。今回は、専門家会議等を受けて、ベッドを半減の40床、リハビリ機能は千既病院に集約、プールは一関市と引き続き協議していく、というものでした。

大変だ、直通バスもない、健康のためにプールは大事だなど、多くの意見が出されました。これを受けて医療局では、引き続き協議していくことを表明しました。

## パワハラは職場全体の問題 遠野支部で学習会開催



組合員手帳も活用した学習会

本部青年部定期大会に続いて、8月8日(水)、遠野支部でパワハラ学習会が行われました。

厚生労働省が今年6月に発行したばかりの「なくそう! パワハラ」のリーフや組合員手帳などを使い、〇〇副委員長が講師を務め、「パワハラは、被害者・

加害者の問題ではなく、職場全体の問題」であることが強調されました。また、具体的な予防、解決の手段としては、みんなでこうした学習会を重ねること、声をかけること、厚生労働省が指摘するパワハラを許さないという「トップのメッセージ」が大事なことが紹介されました。

パワハラが懸念される場合は、早めに学習会の開催などを検討しましょう。

# 安全で安心な未来を子どもたちに

第55回 in 一関  
**岩手県母親大会**  
 7月29日

一関市の一関文化センターで開催された岩手県母親大会には、全県から約1000人（県医労9支部・本部64名）が参加しました。

午前は、「震災復興」、「社会保障と税」の2つのシンポジウム、教育、放射能、地域医療など8つの分科会、そして中尊寺見学会、2つの見学分科会が開催されました。地域医療の分科会では、助言者に



(上) 全体会オープニングを飾った「時の太鼓」  
 (下) 今日の母親運動で訴える磐井・南光・千厩支部のみなさん

中野執行委員長、司会に〇〇〇副委員長と磐井支部女性部長の〇〇〇〇さんがあたり、被災地の医療再建をはじめ、誰もが、いつでも、どこでも安心してかかれる医療を守ろうと話し合われました。参加者からは、「こんなにも県立病院の再編が進められてきたのかと驚いた。勉強になった」などの感想が寄せられました。

午後の全体会は、迫力のある「時の太鼓」で開幕。

記念講演のあとの「今日の母親運動」では、医療の現場を代表して、磐井・南光・千厩支部のみなさんが医師・看護師不足の実態などを訴えました。その後、餅文化と言われる一関ならではの餅まきが行われ、参加者を楽しませました。また大会では、子どもたちを放射能から守るために声を上げ、行動し、原発からの撤退と自然エネルギーへの転



地域医療の分科会。左から助言者の中野執行委員長、司会の〇〇〇副委員長、磐井支部女性部長の〇〇〇〇さん

換を求める特別決議を採択しました。

## 記念講演 子どもたちに明るい未来を 原発ゼロをめざして



記念講演は、福島在住で原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員の伊藤達也さん。伊藤さんは、「原発事故は最大にして最悪の公害だ。政府は国策として電力会社に金を出し、電力会社は広告費をふんだんに使うため、マスク

ミも物が言えなくなってしまう。浪江町の子どもの半数が家族と別居している。その子たちは言っている。『大人になった時、浪江町はあるの?』と。今後、原発ゼロに向けた国民的運動をつくっていきましょう」と呼びかけました。

県医労青年部中央交流会 in 東京

結成55周年 スカイツリーへGO! GO!



- とき 2012年11月18日(日)～19日(月)
- 内容 18日 東京スカイツリー&ソラマチ、ティナークルーズなど  
19日 終日 自由行動 宿 外ロポリタンイトモト
- 対象 青年組会員とその家族 ※家族は実費負担となります
- 定員 40名 料金 20,000円(JR+宿泊+クルーズ代込)

「金東!?!」

盛岡でも反原発のデモ行進

官邸前で毎週金曜日行われている反原発デモのことを略して「金官」と言うそうです。

盛岡でも7月20日から毎週金曜日、若いママ達がツイッターなどで呼びかけ行われています。内丸の緑地公園から東北電力前までなので、さしずめ「金東」と言えばいいのでしょうか？

思い思いのパフォーマンスで仕事帰りのサラリーマンや大学生、お母さん、子ども達が参加し「再稼働反対!」と声をあげています。写真は、128人参加した8月10日(金)のデモ。主催者が最後まで行進した人と一人ずつハイタッチで確認しました。子どもの未来のために、できることから行動しよう!



さまざまなパフォーマンスで「脱原発」を訴える市民



挨拶する山田真己子委員長

要求実現に向け20万人医労連を  
日本医労連第62回定期大会

日本医労連第62回定期大会が、熱海後楽園ホテルで全国から約400人が参加し、開催されました。今年も、組織人員を10年ぶりに17万人台に復活させたことが山田委員長の挨拶で述べられ、組織拡大の発

言も多数ありました。岩手からは〇〇〇副委員長が、全国からの支援に感謝を述べ、被災県立病院の再建について報告。岩手の代議員は、被災地のわかめや海苔を販売し、カンパを集めました。県医労は、医労連共済の個人共済加入目標達成率全国1位で表彰されました。また、中野委員長が中央執行委員に再任されました。

# しげやまき

毎週金曜日に行われている反原発のデモが大きな力になって、政治を動かすまでに発展していくことを願っています。国民の利益を守るための政治にならないといかんです！

金石支部 鬼嫁

私の将来はどうなるのだろう。不安がいっぱい。でも友と語らい、温泉に浸かってゆつくりするのも大切だね。

磐井支部 ペロ

7月14日に行われた球技大会。大東は唯一、卓球に出場。結果は全敗だったけど、応援でのチームワークはピカイチでした。

大東支部 とうちゃん

今年、定期大会（女性部

の定期大会も）出席できずに残念でした。夏バテせずには仕事も組合の活動もがんばりたいと思います。

中央支部 いちろうの母

日々、仕事に追われ、委員会に追われ、私はこの状態でナース続けられるだろうかと思うこの頃です。

宮古支部 香川真司大好きかあちゃん

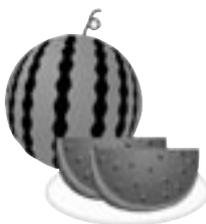
最近、「塩こうじ」にハマっています。お肉につけ

ると柔らかくなって美味しいです。「塩こうじ」オススメですよ。

中央支部 もこもこ

忙しすぎて、身体ではなく、心が夏バテしました。心の回復に「嵐のコンサート」当たりますように…。

宮古支部 匿名



## 7月号パズル 当選者発表

7月号パズル「まちがいは7つ」には22名の応募があり、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

### 7月号当選者(敬称略)

越冬カメ虫（一戸支部）、じゃがいもの花、手術室、（中央支部）、ガッツ（遠野支部）、アルパカッソ（中部支部）、小夏、ペロ（磐井支部）、よつちま（南光支部）、鬼嫁（釜石支部）、香川真司大好きかあちゃん（宮古支部）

## とんがらし

数万人、時には20万人もの原発の再稼働反対の行動が、毎週、官邸前で繰り広げられ、「60年安保のようだ」などとも言われている。盛岡にも「飛び火」している。子連れの参加が目立ち、参加者は市内にとどまらない。「安保」の時には、ヘルメットにマスク、手には旗竿を持った「活動家」がデモや集会をリードしていた（と聞いている）。「活動家」の復活も近いのだろうか▼年越し派遣村、反貧困などの運動に取り組み、県医療研集会の記念講演にも来た湯浅誠氏が「活動家一丁あがり！」（NHK出版新書）という本を共著で出している。自らを「活動家」と呼び、「一丁あがり！」という手軽さで「活動家」を育てる試み

を紹介している。世の中に不満があつて、何もしないのでなく、「社会にモノ言う」人、モノを言えない仲間を誘い、その場を作る人、それが「活動家」だと再定義している▼自らを「穏やかな市民革命家」と呼び、地域福祉、まちづくりなどで全国を飛び回っている日置真世氏は、市民の自立をめざして集まるのが大事と話し、その場所を作る「場づくり師」とも称している。まったく違う分野で活躍する2人が、回りの自立的参加をめざす「場づくり」というキーワードで結びつく。今の「場づくり師」たちは、物理的場所を飛び越え、インターネットで繋がって、新しい場を作り出している。盛岡でデモを組織している彼女らは、まさに新しい「活動家」である。さあ、主権者になるデモに参加しよう。（は）

温泉で  
フレッシュ  
セミナー  
を  
楽しもう  
権利を学ぼう!

## フレッシュセミナー

日時 10月19日(金) 13:30  
~20日(土) 12:00

会場 ホテル森の風 鶯宿



## 職場川柳

- ◇野田総理 ネクタイ結び 電力消費?  
(働く私はクールビズ)
- ◇看護師が 生きいきしてこそ 良い職場  
(評価のポイント)
- ◇未来志向 領土問題 足かせに  
(平和的解決を願う市民)
- ◇職場から なくそういじめ 脱パワハラ  
(たたかう人権活動家)
- ◇ノーモアの 願いあらたに 被爆の地  
(原水禁世界大会参加者)

### 9月の予定

- 1日(土) ~ 2日(日) 岩手医労連第65回定期大会(ホテル大観)
- 5日(水) ~ 6日(木) 日本医労連看護要求実現全国交流集会(新潟)
- 7日(金) ~ 9日(日) みちのくアクトin秋田
- 8日(土) いわて労連定期大会(総合福祉センター)
- 8日(土) ~ 9日(日) 県医労女性部結成55周年記念バスツアー(福島)
- 15日(土) 支部長会議(県民会館)
- 23日(日) ~ 24日(月) 日本医労連組織拡大強化・共済推進全国交流集会(京都)

### 10月の予定

- 4日(木) 岩手医労連女性部定期大会(エスポワールいわて)
- 県医労女性部長会議(エスポワールいわて)
- 13日(土) 県医労第148回中央委員会(エスポワールいわて)
- 岩手青年集会在大船渡
- 17日(水) 国民医療を守る10.17国民大集会(日比谷野音)
- 19日(金) ~ 20日(土) 県医労フレッシュセミナー(森の風鶯宿)
- 岩手医労連青年部定期大会(都南・キャラホール)
- 20日(土) 統一要求書提出日(予定)
- 26日(金) ~ 28日(日) 国民医療研究所第27回看護介護講座in名古屋
- 28日(日) いのちと健康を守る住民のつどいin山田(山田町中央公民館)



## 懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送付先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は9月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!